

安土コミュニティエリアの整備に向け今後議論を深めるため、検討状況を定期的にお知らせする整備検討通信を発行します。ぜひお読みいただきご意見やご感想をお寄せください。

(連絡先は最後に記載しています。)



安土コミュニティエリア構想(案)説明会を開催しました

安土コミュニティエリアの機能や規模などを説明

令和5年5月28日(日)の13:30と19:00から、安土コミュニティセンター大ホールにおいて、「安土コミュニティエリア構想(案)説明会」を計2回開催しました。

説明会では、これまでの取り組み経過や、コミュニティエリア整備とはどのようなものか、そしてエリアの機能や規模などの構想(案)について説明をさせていただきました。



構想(案)説明会(第1回目)

※構想(案)の内容は、今回の整備検討通信で一部紹介しますが、説明会の配布資料を市ホームページに掲載しておりますので詳しくはそちらをご覧ください。

(市HP) <https://www.city.omihachiman.lg.jp/>
(ページID) 25425

又は、「安土コミュニティエリア」で検索

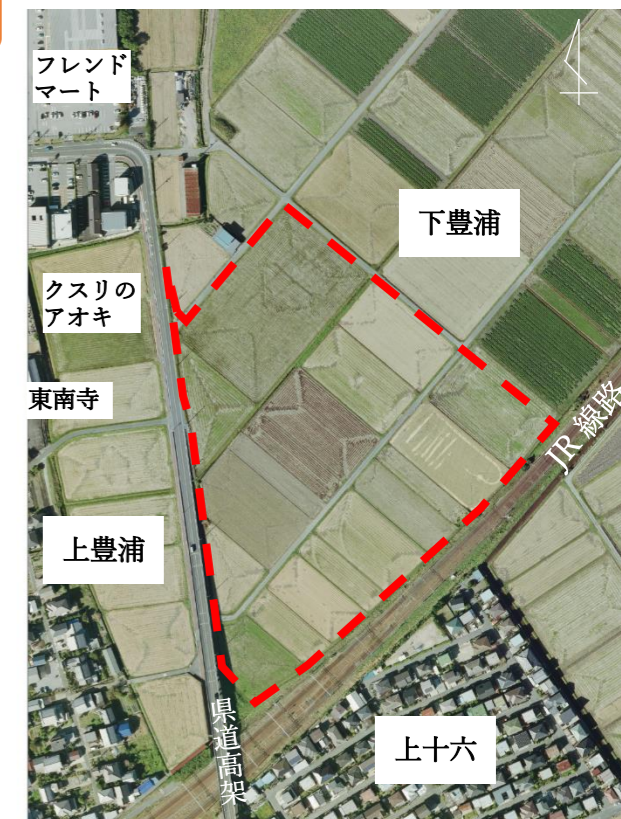
構想(案)説明会で寄せられたご意見を紹介します

- 湧水が多く地盤の軟弱な場所なので、沈下しないように十分な地盤対策をしてください。
- 電車の音に配慮し、必要な対策を取ってください。
- コミュニティセンターは、利用者数などを踏まえた規模にしてください。
- イベント等で使用する物を置ける倉庫を設置してください。
- これまで市内で整備してきた他のコミュニティエリアを検証して進めてください。
- 安土の歴史的な背景などの要素に配慮した建物にしてください。
- 交通量が増えるので渋滞などが発生しない様にしてください。
- 造成高を浸水想定高の基準より2~3m高くした方が良いのではないかと。
- 通学路のルートや安全対策の検討を進めてください。
- 地下道が通学路になった場合、幅が狭いので自転車等と接触しないか心配である。
- 周囲の排水路や河川に影響がないようにしてください。
- 調整池には、外部フェンスなどの安全対策をしてください。
- 災害時を想定した様々な対応や運用の検討を更に進めてください。
- 現小学校の体育館を残してください。
- 跡地活用の検討は、地域とコミュニケーションを取って検討を進めてください。
- 説明会に参加されていない方に向け、構想(案)の内容の周知を更にしてください。

★今後も皆様からのご意見をお聞きしながら、地域の皆様と一緒に、一日も早いコミュニティエリア整備を進めて参ります。

コミュニティエリアの概要

- 場所 安土町下豊浦 地先
※安土小学校の移転整備地の一帯
- エリア面積 約49,400㎡
- 建物の想定面積(延床)
 - ・小学校
 - 校舎(2階建て) 6,028㎡
 - 体育館(屋内運動場) 1,260㎡
 - 多目的大ホール 250㎡
 - グラウンド 9,775㎡
 - プール 1,084㎡
 - 屋外倉庫 100㎡
 - ・コミュニティセンター
 - コミセン(2階建て) 1,356㎡ (消防分団含む)
 - 屋外倉庫 200㎡
 - ・こどもの家
 - こどもの家(平屋) 450㎡
- その他
 - 調整池 3,520㎡(地下式除く)
 - 駐車場 9,680㎡(340台)
 - 道路・通路・緑地等 18,220㎡



コミュニティエリアの範囲

コミュニティエリア整備とは

大災害が発生すると・・・

- ・家屋の損壊、ライフラインの途絶等により自宅での生活が不可能
- ・大規模災害時には、行政機関による公的支援が機能するまでに時間を要する

【市の取り組み】

災害から住民の生命及び身体の安全を守るため、市民の約1割が中期的に避難生活を送れるよう、市域11の防災地区に区分し、**防災機能を備えた「避難施設」(※)として、コミュニティセンターと小学校等を併設したコミュニティエリアの整備を推進**し、防災のソフト対応(啓発)と合わせ相乗効果により、**災害に強いまちづくりを目指しています。**

公共施設を一体的に整備して各施設の相互連携や共用化を図り、

平時は、地域の特性を活かした**地域コミュニティの活動や教育活動の拠点**として、有事の際は、現地本部、避難施設、防災資機材などを備えた**地域防災拠点**として機能を発揮します。

(※) 避難施設

災害時に対応した給水や自家発電、トイレ等の設備を整え、中期的に避難生活が可能となる地区の防災拠点となる施設。

お問い合わせ・連絡先

近江八幡市 都市整備部 安土コミュニティエリア整備推進室(安土町総合支所内)

TEL : 0748-36-5581 / FAX : 0748-46-5320

E-mail : 010431@city.omihachiman.lg.jp ○ご意見をお寄せください。お待ちしております。

安土コミュニティエリア構想（案）を紹介します

1. 一体的に整備する施設

- ・安土小学校
- ・安土コミュニティセンター
- ・消防団詰所（安土分団）
- ・放課後児童クラブ（3クラブ分）を一体的に整備

2. 道路

- ・北側が車両のエリアへのメインの進入口…①
- ・JR南側からのアクセスのために県道に右折レーンを設置…②
- ・徒歩、通学は南西側が進入口…③
- ・エリアの外周に道路を設置
道路幅員 9.5m（車道 7m、歩道 2.5m）
- ・外周の道路を農道、県道高架下道路に接続
- ・東側に緊急時用の車両出入口…④
- ・エリアの造成高は、200年確率の浸水想定水位（T.P.86.81）以上に設定
（参考）田面から約 1.6m
県道進入口から約 0.5m
周囲の農道から 0.7～1.1m
琵琶湖の平均水位±0から 2.44mの高さ

3. 施設配置

- ・施設間の連携に重点をおき、各施設を線路からできるだけ離して配置
- ・「コミセン」と「小学校・体育館」を隣接
- ・コミュニティスクール、地域交流、発表の場となる「多目的大ホール」をその間に配置
- ・コミセン周りにオープンスペース
- ・こどもの家はグラウンドと駐車場に隣接
- ・駐車場
一般利用（中央） 176台
※消防団の訓練スペース含む
イベント用（北側） 78台
教職員・関係者用（南側） 86台 計 340台
- ・南西に調整池を配置

4. 景観

- ・近江八幡市風景計画（歴史文化風景ゾーン）内で、北側には安土山を望む田園に囲まれた原風景に恵まれた場所である。
- ・エリアとして必要な機能を確保しつつ、建物の低層化や勾配屋根、落ち着いた色彩を採用し、敷地内の緑化を行い周囲と調和のとれた良好な景観形成を図る。

【構想（案）について】
 構想（案）は、地域のご要望、ご意見などをお聞きしながら、これまで検討を進めてきた機能や各施設の規模等を図に取りまとめたものです。
 この図は、今後の各種法令に基づく協議や詳細な調査等により、変わる場合があります。



5. 災害時の機能転換

災害発生時には、各施設で密接に連携し地域防災拠点に機能転換します。

- コミュニティセンター
 - 1階 ・現地本部、消防団詰所
 - ・総合受付、情報掲示(ホール)
 - ・炊出し(調理室)
 - 2階 ・中長期避難所(和室、会議室)

- 小学校
 - ・短期避難所(教室)
 - ・救護所(保健室)
 - ・炊出し(家庭科室)
 - ・ボランティア控室(特別教室)

- 体育館
 - ・中長期避難所
- 多目的大ホール
 - ・中長期避難所

- グラウンド
 - ・仮設住宅(中長期)
 - ・援助物資集積所
- プール
 - ・生活用水

- こどもの家
 - ・短期避難所
- 緊急時用の車両出入口
 - ・緊急車両、物資搬入口

- 駐車場
 - ・屋外避難所
 - ・避難者駐車場
 - ・ボランティアスペース
 - ・緊急車両拠点
 - ・応急給水拠点